

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

キノミタケ

Chorioactis geaster

細矢剛（国立科学博物館）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 菌類分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：細矢剛. 2025. キリノミタケ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Hosoya, T. 2025. *Chorioactis geaster*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

キリノミタケ

Chorioactis geaster

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) B2ab				
基準 A: —	基準 B: VU	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
B2. 生育地面積が 2000 km² 未満であると推定されるほか、次の兆候が見られる。 a) 生育地が過度に分断されているか、10 以下の地点に限定されている。 【地点数】10 地点以下 b) 出現範囲、生育地面積、生育地の質、生育地点数、成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される。 【判断理由】 本菌は、自然林内のイチイガシ倒木に発生する。本種の発生地はいずれも開発や環境保守によって改変される可能性が高く、生育環境の減少が予測される。				
評価分科会： 菌類分科会				

概要

今関（1938）によって宮崎県西諸県郡で採集された 1 個の未熟子実体が日本新産の *Chorioactis geaster* と同定されたが、その後本菌は 35 年後の 1973 年まで採集されなかった。イチイガシ (*Quercus gilva* Bl.) の倒木上に発生。本菌は日本以外ではアメリカ合衆国（テキサス州）にも産するとされるが、本菌との同一性には疑問もある。

基礎情報

【形態】

子実体（キノコ）は短い柄を持ち、はじめ球形で次第に紡錘形、25～40×50～70 mm となる。子実体の成長にともない頂部に切れ込みが入り、4～7 裂片を持つヒメツチグリのよう開裂し、径 100～120 mm。子嚢は円筒形で 600～750×17.5～20 μm、8 個の胞子を含む。子嚢胞子は紡錘形、55～67.5×10～12.5 μm。

【生活史】

発生季節は秋。人工培養できる。

【生育環境】

イチイガシ (*Quercus gilva* Bl.) の倒木上に発生。

生育環境区分：	【陸域_中標高地】森林
---------	-------------

国土地域区分：	(1) 奥山自然地域
---------	------------

【分布域】

今関（1938）によって宮崎県西諸県郡で採集された 1 個の未熟子実体が日本新産の *Chorioactis geaster* と同定されたが、その後本菌は 35 年後の 1973 年まで採集されなかった。その後、山口県、奈良県、高知県でも知られるようになった。ただし、生育環境は限られる。また、アメリカ合衆国（テキサス州）にも産するとされるが、本菌との同一性には疑問もある。

現在の生育状況

【分布域の現況】

宮崎県内の発生地は、1999 年に確認された。その後、山口県、高知県、奈良県でも採集されたが、2012 年以降発見されておらず、伐採や地域の開発（ダム開発）にともなう環境の変化により絶滅が危惧される。

【生育地の現況】

不明である。

【個体数の現況】

不明である。

存続を脅かす要因

発生地の開発およびダム開発にともなう生育場所の森林伐採や環境の変化。

要因の区分：	(過去)	森林伐採, ダム・河川工作物建設
	(現在)	森林伐採, ダム・河川工作物建設

特記事項

本菌は培養が可能で、人口栽培下で子実体の誘導もなされている（牧野ら 2023）。

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第4次 2019:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第4次 2018:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第4次 2017:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第4次 2015:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第4次:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	VU
第3次:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Kupfer ex Eckblad	CR+EN
第2次:	キリノミタケ	<i>Chorioactis geaster</i> (Peck) Eckblad	CR+EN
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

宮崎県[絶滅危惧 I B 類(EN-g)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- Imazeki, R. and Y. Otani, 1975. Rediscovery of *Chorioactis geaster* (Peck) Eckblad in Kyusyu, Japan. Transactions of the Mycological Society of Japan, 16: 222-229.
- 今関六也, 1938. 奇菌 *Urnula* Geaster Peck 九州二産ス. 植物研究雑誌, 14: 680-684.
- 黒木秀一・長尾英幸・清田悦司, 2002. 絶滅危惧菌類「キリノミタケ」の発生状況とその環境調査. 宮崎県総合博物館研究紀要, 23: 23-45.
- 牧野 純・中束賢譲・根津郁実・石栗 太・中澤武, 2023. 絶滅危惧種キリノミタケの木材腐朽特性と原木栽培による子実体形成. 日菌報 64: 41-55.
- Nagao, H., S. Kurogi, E. Kiyota, and K. Sasatomi, 2009. *Kumanasamuha geaster* sp. nov., an anamorph of *Chorioactis geaster* from Japan. Mycologia, 101: 871-877.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Chorioactis geaster has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Chorioactis geaster* is listed as VU under criteria B2ab.

B2. Area of occupancy estimated to be less than 2,000 km², and estimate indicating at least two of a-c:

- a. Severely fragmented or known to exist at only a single location.
- b. Continuing decline, observed, inferred or projected, in any of the following:
 - (i) extent of occurrence
 - (ii) area of occupancy
 - (iii) area, extent and/or quality of habitat
 - (iv) number of locations or subpopulations
 - (v) number of mature individuals

Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Mid-altitude area】 Forest
Threat types:	Logging and wood harvesting, Dam/River structures construction
Law designation status for conservation	—

執筆者: 細矢剛 (国立科学博物館)
 Author: Tsuyoshi Hosoya

公表年月：2025 年 3 月